

上田市教育委員会 6 月定例会会議録

1 日 時

令和元年 6 月 2 6 日（水） 午後 3 時 0 0 分から午後 3 時 4 4 分まで

2 場 所

上田駅前ビルパレオ 5 階 上田市教育委員会 第一会議室

3 出席者

○ 委 員

教 育 長	峯 村 秀 則
委 員	平 田 利江子
委 員	横 関 妙 子
委 員	綿 谷 憲 一

○ 説 明 員

中澤教育次長、池田教育参事、石井教育総務課長、翠川教育施設整備室長、緑川学校教育課長、
竜野生涯学習・文化財課長、西嶋人権同和教育政策幹、池田スポーツ推進課長、武捨第二学校
給食センター所長、小泉中央公民館長、村山城南公民館長、柳原上田情報ライブラリー館長、
青木丸子地域教育事務所長、宮崎真田地域教育事務所長、津久井武石地域教育事務所長補佐

1 あいさつ

6月の議会は、17日、18日、19日に一般質問、21日には総務文教委員会が終了し、ひと段落ついている。後ほど質問や答弁については報告させていただくが、今回も多岐にわたって質問が出た。議員や市民の皆さんの関心の高さ、一つひとつの質問やその内容について答えながら、粛々と事務を進めていきたいと思っている。また、本日は第二学校給食センターの業務についても報告させていただくが、大変ご心配いただいている老朽化の件についても、後ほどセンター所長の方から説明をさせていただく。

2 協議事項

(1) 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について（学校教育課）

○資料1により緑川学校教育課長説明（要旨）

毎年、長野県教育委員会と上田市教育委員会では了解事項を取り交わししている。このことは、長野県教育委員会と市町村の教育委員会は、全県視野に立って教育行政の適正かつ円滑な運営を図るため、教職員の人事については、県教育委員会と市町村教育委員会と連携の上、校長の意見を尊重し、異動原案を作成することとしている。このことから、令和元年6月から令和2年5月31日までの間、了解事項について県教育委員会と上田市教育委員会で取り交わしをし、実施するものである。

峯村教育長

「資料1」のところだが、長野県教育委員会と記載のあるところに印が押されている。その下に教育委員会と入っている。その教育委員会の前に「上田市」と記載し、印を押して2部作成する。1部は県に、もう1部は上田市教育委員会保管である。例年と同じ内容であるが、何かご意見等あればお願いしたい。よろしいか。

○全員了承

(2) 上田市教育支援委員会委員の変更委嘱について（学校教育課）

○資料2により緑川学校教育課長説明（要旨）

上田市では教育支援を適切に行うため、教職員、児童福祉施設職員等の各分野から、専門家からなる上田市教育支援委員会を設置し、障がい等の種類や程度、適切な教育措置の必要性について調査、審議を行い、特別支援学校の就学、特別支援学級への指導等について助言をいただいている。現在の委員については、平成30年6月1日から令和2年5月31日までの2年の任期となっているが、このうち2名が人事異動等により変更となった。条例により、不在期間の補欠委員の任期は前任者の残任期間とするとなっているので、それぞれ後任の任期の承認をお願いしたい。

峯村教育長

ただ今の協議事項についてご質問等をお願いしたい。

平田委員

委員の変更委嘱について異論はないが、教育支援委員会についてお伺いしたい。昨年度、どのくらいの人数の方が相談をされたのか、分かれば教えていただきたい。

緑川学校教育課長

昨年度は手元になく、平成29年度だが会議自体は8回開催しており、判定件数が245件と年々件数が増えている。

平田委員

年々件数が増加し、相談内容も多様化していると思われる。引き続き一人ひとりに寄り添い一貫した支援をお願いしたい。

峯村教育長

相談件数が年々増えていて、会議時間が非常に長くなっている。本当に多くて困るときは、委員を2つのグループに分けて検討をするようなこともある。ほかにはいかがか。

よろしいか。それでは報告事項に入りたい。

○ 全員了承

3 報告事項

(1) マラソン大会・駅伝大会の開催について(スポーツ推進課 武石地域教育事務所)

○資料3により池田スポーツ推進課説明(要旨)

第33回上田古戦場ハーフマラソン大会は例年開催している。期日は10月13日(日)、午前9時スタートに開催する。コースについてだが、昨年まで国道43号の交差点をわたるコースであったが、その渋滞がひどい状況であること、また、車を流すためにランナーを止めてしまうことがあり、そこまで行かないで手前を折れてコースの変更をさせていただき、第33回大会のコースと考えている。また、本大会については、日本陸上競技連盟公認コースとして開催をしてきているが、5年に1度の公認コースの更新がある。本年度更新を行い、引続き、公認コースの大会として行っていきたいと考えている。申し込みは、令和元年7月1日(月)から8月18日(日)まで受付。例年だと2,000人から2,200人の申込みをいただいている。参加予定数も2,400人として、例年通り開催していききたいと思っている。資料にあるゲストについてだが、今年度は上野裕一郎さん、(2009年世界陸上競技選手権男子5,000m日本代表)佐久長聖高校出身の選手である。今回は上野さんをお招きして一緒に走っていただき、表彰も上野さんにしていただく予定である。ハーフマラソンについては以上である。

峯村教育長

続いて、武石地域教育事務所からともしびの里駅伝大会についてお願いしたい。

津久井武石地域教育事務所長補佐説明(要旨)

武石地域総合センター整備事業にともない、メイン会場を従来の自治センター駐車場から、武石体育館駐車場に変更し、コースも一部変更、スタートについても、ともしび博物館前から武石体育館駐車場に変更し、武石地域内を巡るコースとなる。今回は、30回目の記念となることからゲストランナーをお呼びし、大会を盛り上げる計画である。以下、資料記載のとおり、

- 1 主催は上田市、上田市教育委員会、ともしびの里駅伝実行委員会(事務局 武石地域教育事務所)。
- 2 期日は、10月27日(日)午前10時30分武石体育館駐車場をスタートとなる。
- 3 主会場は武石体育館駐車場。
- 4 コースは武石体育館駐車場スタート全7区間27.5kmのコースである。

- 5 表彰は、優勝から第6位まで、区間優勝、小学生1位、中学生1位、レディース1位、マスターズ1位、東京都練馬区長賞、ほか。
- 6 申込期間は9月27日（金）まで。
- 7 参加人数は約1,000人を予定している。

なお、ともしびの里駅伝は平成2年から開催して、今年で30回目の開催となる。この大会は、繰り上げスタートがないことから、1本の櫓を最後までつなぐ、チーム全員を心ひとつにできる大会であり、日本一の草駅伝を目指して毎年開催し、子どもから大人までご参加いただいている。

峯村教育長

ご質問等があればお願いしたい。

○全員了承

（2）「2019友好都市ブルームフィールド市郡交流事業」について（丸子地域教育事務所）

○資料4により青木丸子地域教育事務所長説明（要旨）

概要は、上田市が友好都市として提携しているアメリカコロラド州ブルームフィールド市郡とは平成13年度（2001年）以来相互で派遣交流を始め、今年度で第9次の訪問団となる。

主催は、上田市・上田市教育委員会、上田国際交流事業を進める会。上田国際交流事業を進める会は上田市から委託をしている。

参加者は、資料4の2枚目に参加者の名簿の記載があるが、3月に市内の全中学校へ募集を出した。17人の応募をいただき、4月に選考会を実施し、2、3年生の12名が選ばれた。ビル・レッティ会長を含む4名の方に引率をしていただく。

費用は約23万円を予定している。滞在中の雑費（食費含む）2万円、合計で約25万円余の費用（保護者負担）を予定している。予算の範囲以内で、旅費の1/2以内について、補助金額が交付される。

スケジュールは、7月28日（日）から8月3日（土）7日間としている。なお、壮行会は7月21日（日）丸子公民館で行う。帰国後は報告会を開催し、派遣中学生による経験の発表等によって、他の生徒にも国際交流の楽しさや、英語学習の重要性を伝え、中学生による国際交流事業の資質向上につなげていきたいと願っている。また、教育長、教育委員の皆さまにはあらためて通知をするので、壮行会、報告会へのご出席をお願いしたい。

峯村教育長

ただ今のブルームフィールド市郡交流事業について、ご質問等あればお願いしたい。

○質 疑

横関委員

17人の応募があり、12人が選考された。面接と書類審査を点数化して選考するということが、中学別にみると、1中から4中まで選考された生徒がいない状況である。これは帰国して報告会をしても、1中から4中の生徒は報告会を聞く機会はないのか。選考するときに考慮はされないのか。

青木丸子地域教育事務所長

募集が17名あったが、その中には含まれていなかった。

横関委員

学校側から生徒へ応募の打診はないのか。

青木丸子地域教育事務所長

学校側にもお伝えはしてある。あくまでもご自分の応募ということになる。

横関委員

貴重な体験でもあるので、他校の生徒の発表だとしても、どこかで聞ける機会を学校で設けていただけるとより良いと思う。ぜひ、参加がなかった学校にも、この報告をどんな形でもいいのでしていただけたらと思う。

青木丸子地域教育事務所長

そのようにしたいと思う。

横関委員

お願いしたい。

峯村教育長

綿谷委員、ブルームフィールドへおいでになったことで何かお話しいただきたい。

綿谷委員

環境はすごく良い所である。今は、デンバーまで直行便があるので、非常に行きやすくなっている。自然環境も良く、いろいろなお子さんに行っていただきたいと思う。デンバーは、日本人を非常に大切にしている地区である。そういう中で交流できることは、本当に良い体験ができると思う。もっと多くの方に行っていただきたいが、やはり予算の関係上いろいろとある。ただ、横関委員がおっしゃったように、できればいろいろな学校の方に参加していただければと思う。学校で誰かが行ったことがあるというようにしていければと思う。現在、海外の取引が多くなってきている。我々の仕事等でもそうだが、子どもたちを通じて海外というものを身近に感じていただけると良いと思う。積極的に交流を進めていただきたい。

○全員了承

(3) スポーツ関係市長表敬訪問状況について（スポーツ推進課）【説明なし】

○資料5

(4) 寄付の状況（学校教育課）【説明なし】

○資料6

(5)行事共催等申請状況について(学校教育課 生涯学習・文化財課 スポーツ推進課)

【説明なし】

○資料7-1 7-2 7-3

(6)「第24回信州爆水 RUNin 依田川」について(丸子地域教育事務所) 【説明なし】

○資料8

(7)公民館だより(各公民館) 【説明なし】

○資料9

(8)YAっHOー! 64号(生涯学習・文化財課) 【説明なし】

○資料10

峯村教育長

それでは、(3)から(8)まで何かご質問等があればお願いしたい。

○質 疑

平田委員

資料5のスポーツ関係市長表敬訪問のNo. 2のうえだミックススポーツクラブ上田エンジェルス・スカイについて、こちらはチアリーディング世界大会部門別第2位と素晴らしい成績。壮行会はされたようだが報告会を考えているか。

池田スポーツ推進課長

市での報告会は特段考えていない。先週の日曜日に保護者の皆さん、ミックススポーツクラブの主催で報告会が開催された。私どもも市長にご案内をいただき、出席させていただいた。市に対しては、市長表敬訪問で報告はいただいたところだが、市民全体の皆さんに対してというのは今のところない。この先になるが、優秀な成績を収めた皆様方に対して、市長が表彰する制度があり、これまでもスポーツ関係で60数件を表彰させていただいたところ。ミックススポーツクラブについても、そのような方法で検討を進めているところである。

横関委員

今年も夏休みが近づいてきて、上野が丘公民館で夏休みわいわい塾が始まる。先日、私の自治会でもわいわい塾の取り組みのお話をいただいたが、この取り組み自体知らない方が多い。全国から視察がくるような取り組みであり、上田市でも誇れるような取り組みであるが、なかなか市民の皆さんに伝わっていない。取り組みを共有していくには、どのように広報していくのが問題だと思う。また、そのときに行政チャンネルは知っているかと皆さんにお聞きしても知らないという。また、各公民館のSNSを立ち上げていると思うが、なかなか登録者数が伸びない中で、SNSをどうやって活用し、市民の皆さんに浸透させるか。U-Tubeを活用していくか、紙媒体でやっていくのか。公民館の良い事業はどんどん共有していただいて、さらに良くなってほしい。ほかにも公民館活動でさまざまに良い活動をされていることがたくさんあって、教育委員にならなければ知らなかったことがたくさんある。公民館全体としてこれから市民の皆さんにどうやって伝えていき、上田市を良くしていくかを考えていただきたい。ぜひ、皆さんもわいわい塾を見学していただき、自分たちで何ができるのか考えていただきたい。

峯村教育長

市民の皆さんへの周知について、また公民館で検討していただきたい。

小泉中央公民館長

重点課題に情報発信を掲げていて、今年度はSNSやホームページの情報発信を強化していく運びになっている。月に一度、館長会を開き、主事会の職員間の連絡等があるので協議し、より良い情報発信ができるよう検討していきたい。

峯村教育長

その他はいかがか。

ないようなので、4のその他には入る。

○全員了承

4 その他

峯村教育長

毎月、交代で出席している所属から、当番の所属長が所属の事業・計画等の紹介や取組状況、課題等について報告をしている。今回は、第二学校給食センターの武捨所長からセンターの業務について説明していただく。

(1)第二学校給食センターの業務について（第二学校給食センター）

○資料11により武捨第二学校給食センター所長説明（要旨）

1. センターの役割

第二学校給食センターは、旧上田市地域16小学校のうち、川辺小と東塩田小を除く14校、児童数5,489人（5月1日現在）、職員など含めると5,981人、概ね6,000食の給食を提供している。

2. 施設概要

- ・給食開始 昭和56年4月6日（昭和56年2月竣工、築38年経過）
- ・敷地面積 3,653.99平方メートル
- ・建物構造 鉄筋コンクリート2階建 1,372.23平方メートル（416坪）
- ・職員56人 給食調理員が50人（正規21人、パート29人）、栄養士3人（県職2人、パート1人）、事務職3人（正規2人、パート1人）

毎日、A、B2コースの給食を作っているが、その理由は、現在の施設では午前中の調理時間内に同じメニューを6,000食作り終えることができない状況である（特に主菜）。そのため、焼物機を使用したメニューを約3,000食、揚げ物機を使用したメニューを約3,000食作ることににより対応している。1つのフロアに、2つの学校給食センターがあるような状態のため、各コースの調理員の作業動線や食材の搬入経路が交差することから接触も多く発生しており、作業の安全確保と、食材の間違い防止対策が重要となっている。

- 3. 給食費（食材費のみを負担）低学年263円 高学年283円 給食費会計年間約3億2千6百万円（平成30年度）

4. 当センターの給食の特徴

- (1)給食材料（肉・野菜類）の当日の仕入れ、当日調理、当日給食の実施
- (2)自然調味料の使用（宿直がいるため、鳥ガラや生のセロリやパセリ等で出汁を作っている）
- (3)地場用産物の使用（上田市産は出荷期間が短いため、使用率は落ちる）
- (4)職員による材料の手切り（原則として）

[主 食]

米（週3回）は上田市産を100%、パン（週1回）は県内産の小麦粉35%、ソフト麺（週1回）は県内産小麦粉100%使用している。

[おかず]

野菜、果物は、市内産を優先し、県内産、国内産の順に使っている。第二の場合は一切生の物は出していない。野菜は加熱が原則でサラダも熱湯を通し、真空冷却して提供している。特に、自校給食より劣るといわれているセンター給食だが、メニューは工夫をしてお出ししている。例えば、今年入学された子どものおばあさんから、電話があり、保育園で食べていたときには野菜が嫌いで食べられなかった。小学校にあがって、野菜のメニューを食べたら野菜好きになったということで、お礼というより感激して電話をいただいたと職員が言っていた。そのメニューを聞いてみると、さきいかを使ったサラダであり、一般の家庭では思いつかないようなメニューであった。そういったものも提供することによって、いろいろな食があるんだよと教えてあげることができる。

5. 食物アレルギーの対応

現在の施設では、除去食・代替食の対応はできていないが、食品名の入った献立明細表を提供している。先ほどのA、Bコースの入れ間違いがあるとこれが台無しになってしまうので、その点は気を使っているところである。

6. 学校、家庭とのふれあいの場の充実、情報の提供

- (1)学校訪問を行い給食中の状況を見る。所長、栄養士、調理員、パート調理員（平成30実施日数28日、全校、訪問クラス数138クラス訪問職員延べ76人）
- (2)毎日、学校との連絡帳を活用する。所長、栄養士、係長、班長
- (3)授業時間に栄養指導、職の勉強を行う。栄養士
- (4)行事食や郷土食の紹介をする放送資料などの配布をする。栄養士
- (5)給食便りを配布し献立内容と栄養量をお知らせする。栄養士
- (6)給食センターの見学受け入れ。所長、栄養士、汽缶班長（平成30年実施日数10日、見学実施校数9校・25クラス、1PTA）
- (7)PTA試食会、授業参観をとおして食生活の改善に役立てる。栄養士（平成30年試食会13回410名）
- (8)休日に公民館などで親子料理教室を開催する。所長、栄養士、調理員（平成30年実施回数4回、参加者110人）

特に(1)の学校訪問については、所長である私や栄養士のほかにも調理員も出席させている。作った給食を子どもたちがどのように食べているのかということが非常に大切なことだと思うので、一緒に行ってもらっている。

7. 行事食・郷土食による給食（一例）

- 4月 入学祝（赤飯、すまし汁）、お花見（お花見だんご）
- 5月 こどもの日（たけのこご飯）
- 7月 七夕（星形ハンバーグ、星のゼリー）
- 9月 お月見献立（栗ごはん、さつま汁）
- 11月 勤労感謝の日（五平餅（郷土食））

1 2 月 クリスマス（鶏肉のハーブ焼き、ミネストローネ）

1 月 鏡開き（雑煮、紅白なます）

2 月 節分（イワシのかば焼き、節分豆）

3 月 ひな祭り（ちらし寿司、ひなあられ）

一例を挙げさせていただいたが、家庭で食べる機会が減った食材を、給食で経験することも大切な食育と考えて提供している。

ここで、施設の状況についてご説明させていただく。昨年、委員の皆様にご視察いただいたときに、コンテナ室側の天井まで届くようなロータリー保管庫と呼ばれる機器に食器を入れて、立体駐車場のようにぐるぐる回す機械があり、老朽化している話をさせていただいた。今週の月曜日の朝に壊れておぼんが提供できなくなった。2つある機械うちのカップの方は動いたが、おぼんが入っている方が取り出せなくなってしまった。急に壊れたので月曜日はコピー用紙を本庁、教育委員会から6,000枚ほど調達し、それぞれ40枚ずつクラスごとに分けてビニールに入れ配達をして、その日はおぼんの代わりにしのいでもらった。昨年も壊れたが物が外に出ていたので、夜までかかってだが別の消毒で19時頃には終わり、その後22時まで入れ替えて滅菌対応をした。今年の場合は、朝壊れたのでそれができずに修理となった。たまたま昨年壊れたときに取り寄せた部品が業者側に残っていて1日で修理することができたが、こうなってくると年に何回もいろいろなことが起こる状況であることから、対応の方を財政課と協議していきたい。また、全体的な修繕の話だが、去年はボイラーが危ないといったのが11月に2台あるうちの1台が壊れ、12月に修理してもう1台も3月に修理した。今、ボイラーは中身だけだが新しい状況になっていて、耐用年数が7、8年といわれているので、次のセンターまで持つかないという状況である。その他の修繕費も平成25年、26年ぐらいは300万円台だったが、27年ぐらいいから600万円台になり、平成29年には950万円、昨年そのボイラーが壊れ、2千万円を超える状況になった。ただ、センターの建て替えがある程度目途が立ってきたので、それまでどうにか持たせるよう運転を続けていきたいと思っている。

峯村教育長

今の説明に対して何かご質問等あればお願いしたい。

綿谷委員

機械が壊れ、部品があったから1日で対応できたが、この次のときは部品がないのか。

武捨第二学校給食センター所長

運よく1日で直ったが、去年は修理するのに1週間かかった。コピー用紙での対応もそのたびにとはいかないので、昨日、いわゆる紙でできたテーブルクロス的なものを取りあえず2日分、1万2千枚を発注させていただいてある。また昨日は毎月行う会議の中で、学校の先生に各学校でお弁当的なものを持ってくる時の布のナフキンの利用ができるのかどうか投げ掛けてある。最初の2日間はセンターが提供した紙ナフキンを使ってもらい、3日目以降は布ナフキンを各家庭から、持ってきていただくことができるのかどうか検討している。

綿谷委員

その修繕はいくらぐらいかかるのか。

武捨第二学校給食センター所長

昨年同じようなところが壊れた時は数万円で済んだ。電機的な故障だったので1つコンデンサみたいなものを替えるのに4、5万円かかる。

綿谷委員

今回、シャフトか何かは。

武捨第二学校給食センター所長

シャフトがダメとの話は前々からあって、その予算の要求もしているが、今回はそちらが壊れた訳ではなくて回転がしなくなってしまった。

峯村教育長

去年は2千万円ぐらい修理費がかかっている。

武捨第二学校給食センター所長

ボイラー1台600万円ずつでそれが2台。それと蒸気釜が280万、あとは空調が不調になって100万、その他は設備関係である。

平田委員

学校訪問の際、美味しく給食をいただいている。ホームページにもひと言、季節の言葉など添えてあり、食育の観点からも子どもたちに対してきめ細やかな対応をしていただき感謝している。施設の老朽化により、職員の方々にさまざまな気を遣っていただきながら進めていただいているが、給食が提供できなくなってしまうことだけは絶対に避けなければいけない。今後、壊れそうな箇所は前もって対処していただきたいと思うが、特に不安な場所はあるか。

武捨第二学校給食センター所長

昨年、ご覧いただいたように電氣的な設備というのがほとんどいつ壊れるのかが分からなくて、先ほどお話があった金属部分の疲労というのは目に見えて分かるが、今回のように電氣的な部分は突発的に起こるので、それはどの機械でも可能性がある状況である。もう1つ、今年は予算が付いたのでお釜がだめで交換し、お釜関係はひと通り安心して使える状態だが、やはりロータリー関係の動くものが心配であり、オートミックスの四角い大きな鍋もセンサーが不調で動き出したらが止まらないのだけど、止まらないから使っている状況である。

平田委員

状況にあわせて対処することになってしまうが、事前にできることがあれば教育委員会全体でフォローしていかなくはいけない。ナフキンの件も予測できる事態に備え対応を決めておくなど出来るだけ支障のないようにお願いしたい。

横関委員

昨年、見学させていただいた。老朽化が激しく狭い施設の中で衛生面にも配慮しながら日々給食を提供してくださっており感謝申し上げる。その著しい老朽化に、もし給食の供給が止まってしまったらと不安を感じた。一刻も早い新施設の建設が重要だが、現施設のメンテナンスも大変重要だ。先日の事例の様におぼんが出ないとなるとナフキンを持ってこなくてはならない。となると、保護者は急にひと手間増えてしまい負担感を感じる方もおられるかと思う。今まで通りのことができるということを前提に考えていただければと思う。安全安心な給食を提供するためには、細かな点検やメンテナンス等必要なところにはお金をかけていただきたい。ぜひ予算をお願いして、いつも安心して子どもたちが給食を食べられるようお願いしたい。

その他、給食のメニューをツイッターに載せていただいているが、なかなか保護者は見てくれないと思う。残念だ。保護者が食育に興味を持てるような形で情報発信をお願いしたい。

武捨第二学校給食センター所長

昨日の会議も毎月開催しているので、そこでも先生方、学校からも発信してもらおうようお願いし、見ていただきたいと思う。

峯村教育長

今日の給食がUCVで流れている。なかなか良いものがでている。PR効果がかなりあると思う。他によろしいか。

横関委員

給食を食べてみたいという方がいらっしゃったら、その場合はどうなるのか。

武捨第二学校給食センター所長

学校の子どもたちと一緒に配送となると思うので、学校の方で了解を得ないといけない。

横関委員

それだったら可能なのか。

武捨第二学校給食センター所長

学校に入っていて、食べていただくことは可能だと思う。給食センターが新しくなれば食べる部屋ができるかと思う。今のセンターでは難しい状況である。

横関委員

もし、センター給食が不安だという方がいらっしゃったら、食べられる機会をつくっていただき、食べていただければセンター給食への理解も深まると思う。その様なことも考えていただきたい。

峯村教育長

その他はよろしいか。

本日は以上で定例会を終了する。

○全員了承

閉 会

教育委員会会議規則第 21 条の規定により署名する。
